



CS1822/CS1824

2/4ポート USB 3.0 4K HDMI

KVMP™スイッチ ユーザーマニュアル

www.aten.com



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルはATEN International Co., Ltdが作成している英語版ユーザーマニュアルを、日本国内のお客様が製品をご使用になる上での便宜を図るため、ATENジャパン株式会社にて機械翻訳ベースで作成したドキュメントです。用語・表現等は公開前に人為的な修正を加えておりますが、若干の表記ゆれなどが残っている可能性がございますので、ご理解願います。

製品の取扱説明書としての整合性は英語版ユーザーマニュアルに準ずるものですが、万が一内容に不備・誤り等がございましたら、誠にお手数ですが、ATENジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

EMCに関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠したデジタル装置Class Aの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

注意: 本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。



ユーザー情報

ユーザーの皆様へ

このマニュアルに記載されているすべての情報、ドキュメント、および仕様は、製造元から事前に通知されることなく変更される場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者(メーカー、代理店、または販売店は除く)が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担するものとします。

このシステムの製造業者は、この装置に対する許可されていない変更によって引き起こされる無線および/またはTV干渉の責任を負いません。このような干渉を訂正することは、ユーザーの責任です。

製造業者は、動作前に正しい電圧設定が選択されていない場合には、このシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいことを確認してください。

同梱品

CS1822

- ◆ 2ポート USB 3.0 4K HDMI KVMP™スイッチ CS1822 × 1
- ◆ HDMIケーブル* × 2
- ◆ USB 3.0ケーブル × 2
- ◆ オーディオケーブル × 2
- ◆ 電源アダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド** × 1

CS1824

- ◆ 4ポート USB 3.0 4K HDMI KVMP™スイッチ CS1824 × 1
- ◆ HDMIケーブル* × 4
- ◆ USB 3.0ケーブル × 4
- ◆ オーディオケーブル × 4
- ◆ 電源アダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド** × 1

上記のアイテムが揃っているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

注意: * 4Kビデオ解像度には高品質のHDMIケーブルが必要です。

** 本書の公開後に、製品本体に機能が追加される可能性があります。最新版は弊社Webサイトにアクセスしてご確認ください。

目次

EMCに関する情報	i
RoHS	i
ユーザー情報	ii
ユーザーの皆様へ	ii
同梱品	iii
CS1822	iii
CS1824	iii
目次	iv
本マニュアルについて	vii
マニュアル表記について	viii
第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
システム要件	4
コンソール	4
コンピューター	4
オペレーティングシステム	4
ケーブル	4
製品各部名称	5
CS1822 フロントパネル	5
CS1824 フロントパネル	5
CS1822 リアパネル	7
CS1824 リアパネル	7
ビープ音の動作	8
第2章 ハードウェアのセットアップ	9
ケーブルの接続	9
接続図	11

第3章 基本操作	12
ポート切替	12
手動切替	12
マウスによる切替	13
ホットキーによる切替	13
RS-232Cコマンド	13
ホットプラグ	14
電源OFFと再起動	14
ポートIDの付番	14
手動ポート選択の代替設定	15
第4章 ホットキーの操作	16
ホットキーによるポート切替	16
ポートの循環切替	17
ポートのダイレクト切替	18
オートスキャン	19
ホットキー設定モード(HSM)	20
HSM起動の代替キー	21
ポート切替の代替キー	21
ATENデフォルトEDIDモード	22
ビープ音の制御	22
ファームウェアアップグレードモード	23
ホットキーによるポート切替	23
キーボードエミュレーションの制御	23
キーボード言語のレイアウト	24
キーボード操作プラットフォーム	24
製品本体における設定の一覧表示	25
マウスエミュレーションの制御	25
マウスによるポート切替	25
Nキー・ロールオーバー対応機能	26
電源状態検知機能	26
デフォルト設定の復元	26
ステレオオーディオミキサー	27
USBのリセット	29
HSM一覧表	29
第5章 キーボードエミュレーション	31

Macキーボード	31
Sunキーボード	32
第6章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	33
セットアップの前に	33
アップグレードの開始	35
アップグレードの成功	38
アップグレードの失敗	38
付録	39
安全にお使いいただくために	39
仕様	41
トラブルシューティング	42
概要	42

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1822/CS1824ユニットを最大限に活用できるように、提供されています。このドキュメントには、取り付け、セットアップ、操作に関するすべての情報が書かれています。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに: CS1822/CS1824を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ: システムのセットアップ方法について図を用いながら説明します。ここには必要な手順が提供されています。

第3章 基本操作: CS1822/CS1824を操作する上での基本的な考え方について説明します。

第4章 ホットキーの操作: CS1822/CS1824のシステムにおけるホットキー操作に関連するすべての概念と手順の詳細について説明します。

第5章 キーボードエミュレーション: PCからMacキーボード、およびPCからSunキーボードへのエミュレーションマッピングを表形式で説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: CS1822/CS1824のファームウェアを利用可能な最新バージョンで使用方法について説明します。

付録: CS1822/CS1824に関する仕様やその他の技術情報を記載しています。

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- 押すべきキーを示します。入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
- 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
- ◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
- > 矢印は操作の手順を示します。矢印は操作の手順を示します。例えば「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択することを意味します。
-  重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

2/4ポートUSB 3.0 4K HDMI KVM™スイッチCS1822/CS1824は、HDMIビデオインターフェースを搭載したKVMスイッチに2ポートUSB 3.1 Gen 1ハブを組みこんだ製品です。HDMIインターフェースは、4K UHD@60Hzおよび4K DCI@60Hzの解像度を提供し、音楽、映画、ゲーム用にプレミアムサウンドを生成しながら、最大限に鮮やかな高解像度画像を表示します。

CS1822/CS1824では、1か所のコンソール(USBキーボード、USBマウス、HDMIモニター)から2台または4台のHDMIコンピューターにアクセスできます。CS1822/CS1824には、フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、およびマウスによるポートの切替機能に加えて、ポート切替やデバイスの設定に役立つシリアルコマンドが提供されています。スムーズな電源投入や高品質ディスプレイのために利用可能なATENデフォルトEDIDモードによって、モニターの互換性の問題が解消されます。また、電源状態検出機能により、1台のコンピューターの電源がOFFになっている場合、CS1822/CS1824は電源がONになっている次のコンピューターへと自動的にポートを切り替えます。

USB 3.1 Gen 1ハブを内蔵したCS1822は、接続されたすべてのUSB周辺機器に対してSuperSpeed 5Gbpsの転送速度を提供します。本製品は独立(非同期)切替機能により、あるコンピューターでUSB周辺機器を選択したまま、別のコンピューターでKVMの操作を行うことができます。これにより、独立したUSBハブや、プリントサーバー、モデムスプリッターなどのスタンドアロンのデバイス共有器を購入する必要がなくなります。CS1822/CS1824には、最大2系統の音源をオーディオ出力として組み合わせることができるオーディオミキシングモードが用意されています。

CS1822/CS1824は、超高解像度4K、次世代USB 3.1 Gen 1ハブ、強化されたユーザーフレンドリーな操作性といった優れた特長を組み合わせることで、デスクトップKVMスイッチの分野において最新の機能を提供します。

特長

- ◆ USBキーボード/マウス各1台とHDMIモニター1台で2台または4台のHDMIコンピュータを操作可能
- ◆ Video DynaSync™ - ブート時における表示の問題を回避し、異なるソース間での切替時の解像度を最適化する、ATEN独自のテクノロジー
- ◆ 対応解像度4K UHD (3840 × 2160@60Hz)、4K DCI (4096 × 2160@60Hz)
- ◆ ATENデフォルトEDIDモード - スムーズな電源投入、高品質のディスプレイと解像度の最適化により、互換性の問題を排除
- ◆ プッシュボタン、ホットキー、マウス※¹、RS-232Cコマンドによるコンピューター選択※²
- ◆ 最大5Gbpsのデータ転送速度に対応した2ポートUSB 3.1 Gen1ハブを搭載
- ◆ コンソールキーボードのエミュレーション/バイパス機能対応
- ◆ コンソールマウスのエミュレーション/バイパス機能対応
- ◆ KVM、USB周辺機器およびステレオオーディオの独立切替に対応
- ◆ 多言語キーボードマッピング - 日本語、英語、フランス語、ドイツ語対応
- ◆ HDオーディオ対応※³
- ◆ オーディオミキサーモード - 最大2系統の音源をオーディオ出力としてミキシング
- ◆ 電源状態検出機能 - コンピューターの電源がOFFの場合、CS1822/CS1824は次の電源がONのコンピューターへと自動的にポート切替
- ◆ ホットプラグ対応 - 製品本体の電源を落とすことなく、コンピューターの取り付け/取り外しが可能
- ◆ SunおよびMacキーボードの使用とエミュレーションに対応※⁴
- ◆ オートスキャンモード機能 - 全コンピューターのモニタリングが可能
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ Nキー・ロールオーバー(NKRO)※⁵ - 衝突なしのキー入力が可能

注意:

1. マウスによるポート切替はマウスエミュレーションモードでのみ使用可能です。3ボタンUSBホイールマウスのみサポートされます。
 2. KVMスイッチがRS-232Cコマンドを受信できるよう、RJ-11→DB-9ケーブルを接続してください。詳細は「CS1822/CS1824 RS-232Cコマンド」のドキュメントを参照してください。
 3. HDMIチャンネル経由のHDオーディオは、個別切替に対応していません。
 4. PCキーボードの組み合わせは、Macキーボードをエミュレートします。Macキーボードは、Macシステムでのみ動作します。
 5. Nキー・ロールオーバー機能は、最大15の同時キー入力をサポートします。
-

システム要件

コンソール

- ◆ 可能な限り最高の解像度が可能なHDMIモニター
- ◆ USBマウス
- ◆ USBキーボード
- ◆ スピーカー

コンピューター

各コンピューターで以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ HDMIポート
- ◆ USB Type-Aポート × 1
- ◆ オーディオポート × 1

オペレーティングシステム

- ◆ Windows
- ◆ Mac
- ◆ Linux

ケーブル

ビデオ品質を保証するために、ATEN HDMI KVMケーブルのみの使用を推奨します。この製品パッケージには2本 (CS1822) または4本 (CS1824) のケーブルが付属しています。

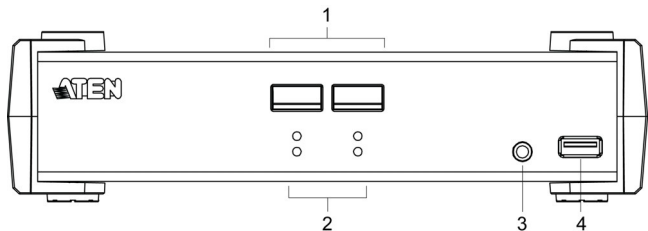
注意:

ディスプレイの品質は、ケーブルの品質に影響されます。

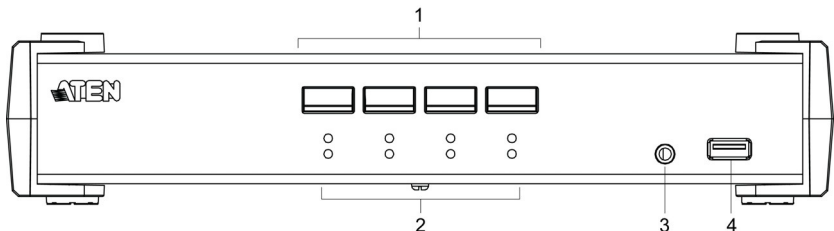
ソースからモニターまでの距離の合計を、6m (PCとKVMスイッチの間は3m、KVMスイッチとモニターの間は3m) 以下にすることを推奨します。追加でケーブルが必要な場合は、販売店にご連絡の上、ATEN認定ケーブルをお求めください。

製品各部名称

CS1822 フロントパネル



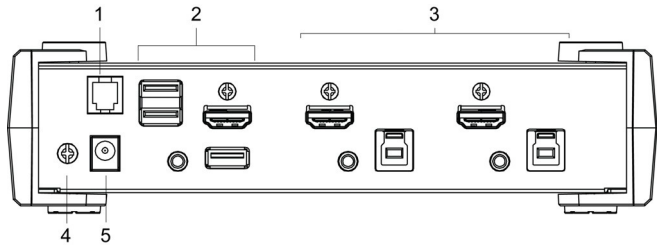
CS1824 フロントパネル



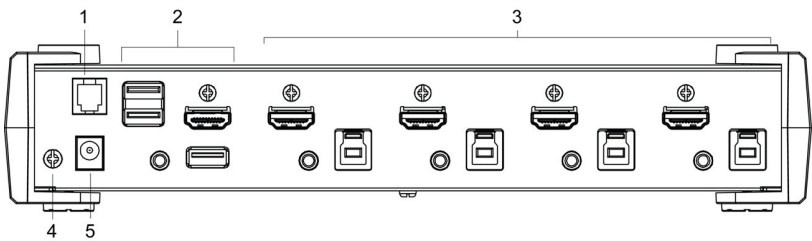
番号	名称	説明
1	ポート選択 プッシュボタン	ポートを手動で選択するには (p.12「ポート切替」参照) : ◆ ボタンを押して2秒未満で指を離すと、対応するポートに接続されているコンピューターで、KVM、USBハブ、オーディオを選択します。 ◆ ポート選択プッシュボタンを2回押すと、対応するポートに接続されたコンピューターに、オーディオフォーカスを移動します。 ◆ ポート選択プッシュボタンを2秒以上押すと、対応するポートに接続されたコンピューターに、KVMフォーカスのみを移動します。 ◆ ボタン1と2を同時に2秒間押すと、オートスキャンモードを開始します (p.19「オートスキャン」参照)。 ◆ (CS1824のみ) ボタン3と4を同時に2秒間押すと、キーボード/マウスのリセットを開始します。

番号	名称	説明
2	ポートLED	LEDの点灯によって、モードと状態を示します。 KVM ◆ 暗いオレンジ色で点灯した場合、対応するポートにつながっているコンピューターが接続状態（オンライン）であることを示します。 ◆ 明るいオレンジ色に変わると、対応するポートに接続されたコンピューターにKVMフォーカス（選択済み）があることを表しています。 ◆ 点滅している場合、対応するポートに接続されているコンピューターがオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。 USB ◆ グリーンに点灯している場合、対応するポートに接続されているコンピューターがUSB周辺機器にアクセスできるコンピューターであることを示します。 オーディオ ◆ グリーンに点灯している場合、対応するポートからオーディオが出力されていることを示します。
3	オーディオポート	メインスピーカーを接続します。接続したスピーカーは、リアパネルのスピーカーよりも優先されます。
4	USB 3.1 Gen 1 周辺機器ポート	USB周辺機器（プリンター、スキャナー、ドライブなど）を接続します。このUSB 3.1 Gen 1ポートは、互換性のあるUSB周辺機器用に5Gbpsのデータ転送速度を提供します。

CS1822 リアパネル



CS1824 リアパネル



番号	名称	説明
1	RJ-11シリアルポート	RS-232Cシリアルコマンド用にRJ-11→DB-9ケーブルをこのポートに接続します。
2	コンソールポートセクション	HDMIモニター、USBキーボード、USBマウス、スピーカー、USB周辺機器*のケーブルを、ここに差し込みます。各コネクタには、それぞれを示す適切なアイコンが付いています。 *このUSB 3.1 Gen 1ポートは、互換性のあるUSB周辺機器用に5Gbpsのデータ転送速度を提供します。
3	KVMポートセクション	製品本体とコンピューターをつなぐケーブルを接続します。各KVMポートセクションは、スピーカージャック、USB Type-Bポート、HDMIポートから構成されています。
4	グラウンドターミナル	接地線（ユニットを接地するために使用）をここに取り付けます。
5	電源ジャック	電源アダプターのケーブル部分を差し込みます。

ビープ音の動作

サウンド	説明
ビープ音が1回	◆ ポートの変更 ◆ オートスキャンモードの起動 ◆ オートスキャンの一時停止/再開 ◆ オーディオミキサーの有効化/無効化 ◆ 無効なコマンド
長いビープ音が1回	◆ ユニットへの電源投入 ◆ ユニットのリセット
ビープ音が2回	◆ オートスキャンの中断 ◆ キーボードエミュレーションOFFモードの開始 ◆ USB同期の終了

ビープ音のON/OFFを切り替える場合は、p.22「ビープ音の制御」を参照してください。

第2章 ハードウェアのセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報をp.39に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 電力サージや静電気によるシステムの損傷を防ぐためには、すべての接続デバイスが適切に接地されていることが重要です。
3. 取り付けるすべてのデバイスの電源がOFFになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここからも電源ケーブルを抜いてください。

ケーブルの接続

システムのセットアップを行うには、p.11の接続図(図内の番号は以下の手順に対応)を参考にしながら、次の手順に従って操作を行ってください:

1. 電圧変化や静電気による損傷を防ぐため、接地線の片方の端をグラウンドターミナルに接続し、もう片方の端を適切にアースされた物体に接続して、ユニットをアースしてください。

注意:

1. 接地線は同梱されていません。適切なケーブルについては、販売店にお問い合わせください。
 2. ユニットが接続するコンピューターおよびデバイスも正しくアースされることを確認してください。
-
2. USBキーボードおよびUSBマウスを、ユニットのリアパネルにあるUSBコンソールポートに接続してください。
 3. 本機のリアパネルにあるHDMIコンソールポートにモニターを接続し、電源を入れてください。

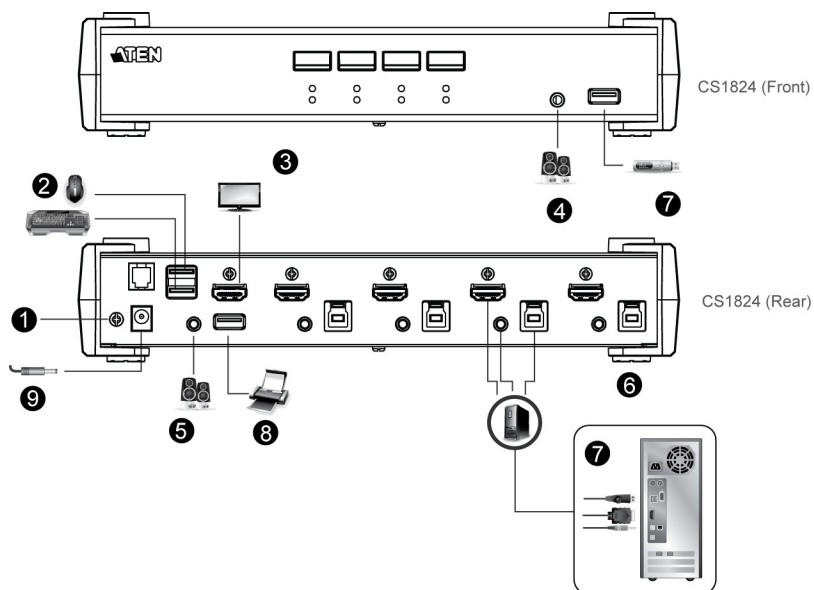
4. スピーカーを本体のフロントパネルにあるコンソールスピーカージャックに接続してください。この接続が正しく機能するためには、CPU側にオーディオケーブルを接続する必要があります。
5. 本機のリアパネルにあるオーディオコンソールポートにスピーカーを接続してください。フロントパネルに接続されたスピーカーは、リアパネルに接続されたスピーカーよりも優先されます。
6. HDMIケーブルのHDMIコネクタを、KVMスイッチにあるKVMポートセクションの空いているHDMIポートに接続してください。また、USB 3.0ケーブルとスピーカーケーブルを対応するポートに差し込んでください。
7. 手順5のケーブルのもう片方の端にあるHDMIケーブル、USB 3.0ケーブル、およびスピーカーケーブルを、コンピューターのそれぞれのポートに差し込んでください。
8. (オプション)USB周辺機器をフロントパネルまたはリアパネルにあるUSB周辺機器ポートに差し込んでください。
9. 本製品に付属の電源アダプターのプラグ部分をAC電源に差し込んだら、電源アダプターのケーブル部分をスイッチの電源ジャックに差し込んでください。
10. コンピューターに電源を入れてください。

注意:

- ◆ 下図で用いられているユニットはCS1824です。CS1822はこれよりKVMポートが少ないだけで、接続手順は同じです。
- ◆ デフォルトでは、KVMスイッチは電源がONになっている最初のコンピューターにリンクします。
- ◆ PCからモニター(KVMを含む)までのケーブルの合計長は、6m以内にしてください。
- ◆ 高品質のケーブルを選択すると、4K UHD (3840 × 2160@60Hz) または4K DCI (4096 × 2160@60Hz) の解像度に達していることを確認するのに役立ちます。

- ◆ 常にデバイスの電源をONにしておくことを強く推奨します。
- ◆ CS1822/CS1824が接続するコンピューターおよびデバイスも正しくアース接続されていることを確認してください。

接続図



第3章 基本操作

ポート切替

コンピューターを切り替えるには、4つの便利な方法があります。

– フロントパネルのポート選択プッシュボタンの押下、マウスのスクロールホイールのクリック、キーボードからホットキーの組み合わせの入力、製品の操作に適したRS-232Cコマンドの入力です。

注意:

オーディオミキサーモードを有効にすると、オーディオフォーカスの切替が変更されます。

詳細については、p.27「ステレオオーディオミキサー」を参照してください。

手動切替

ポートを手動で選択するには:

- ポート選択プッシュボタンを押して離すと、対応するポートに接続されたコンピューターに対して、KVM、USB、オーディオの各フォーカスが移動します。
- ポート選択プッシュボタンを2秒以上押し続けると、対応するポートに接続されているコンピューターにKVMフォーカスが移動します。USBフォーカスとオーディオフォーカスは変更されず、そのポートに留まります。
- ポート選択プッシュボタンを2回押すと、対応するポートに接続されたコンピューターに、オーディオフォーカスが移動します。
- ポート選択プッシュボタン1と2を2秒以上押し続けると、オートスキャンモードを開始します(詳細はp.19を参照)。
- 任意のポート選択ボタンを押して指を離すと、オートスキャンモードを停止します。KVMフォーカスは、押されたスイッチの対応するポートに接続

されたコンピューターに移動します。

マウスによる切替

接続可能なポートを選択する場合: USBマウスのスクロールホイールをダブルクリックすると、ポートを切り替えます。

注意:

1. マウスによる切替操作は、3ボタンUSBスクロールホイールマウスでのみサポートされています。
 2. マウスによる切替はデフォルトでは無効になっています。マウスによる切替を有効にするには、ホットキー設定モード(HSM)(p.16)を参照してください。
 3. マウス切替は、マウスエミュレーションが有効な場合にのみサポートされます。
-

ホットキーによる切替

ホットキーによるポート選択の場合: キーボードから行うポート切替はすべて、[Scroll Lock]キーを2回押して開始します。ホットキーパラメーターの詳細については、p.16「ホットキーの操作」を参照してください。

RS-232Cコマンド

RS-232Cポート選択の場合: ポートを切り替えるのに正しいコマンドとコントロールを入力してください。RS-232Cコマンドおよび制御の詳細については、CS1822/CS1824のRS-232Cコマンドのユーザーマニュアルを参照してください。

ホットプラグ

CS1822/CS1824はUSBホットプラグに対応しています。コンポーネントは、ユニットをシャットダウンせずにUSBハブポートからケーブルを抜くことで、取り外したり、システムに追加したりすることができます。

電源OFFと再起動

CS1822/CS1824本体の電源を切る必要が生じた場合は、バックアップを開始する前に、以下の作業を行う必要があります：

1. KVMスイッチに接続しているすべてのコンピューターをシャットダウンしてください。
2. KVMスイッチから電源アダプターのケーブル部分を取り外してください。
3. 10秒以上経過したら、KVMスイッチの電源アダプターのケーブルを接続し直してください。
4. KVMスイッチの電源を入れたら、コンピューターの電源を入れてください。

ポートIDの付番

KVMスイッチCS1822/CS1824の各KVMポートセクションには、ポート番号（それぞれ1～2または1～4）が割り当てられています。ポート番号は、製品本体のリアパネルで確認することができます（詳細はp.18を参照）。

コンピューターのポートIDは、接続されるKVMポートのポート番号から取得されます。例えば、KVMポート2に接続されているコンピューターのポートIDは2です。

ポートIDは、ホットキーによるポートの選択方法で、KVM、USB周辺機器、オーディオのフォーカスを取得するコンピューターを指定するために使用されます（詳細はp.7を参照）。

手動ポート選択の代替設定

ホットキー設定モードが有効になっている場合、[S]を押すと、次のようにフロントパネルのプッシュボタンの手動ポート選択機能が起動します：

- ◆ ポート選択プッシュボタンを1回押すと、対応するポートに接続されているコンピューターにKVMフォーカスのみが移動します。
- ◆ ポート選択プッシュボタンを2回押すと、対応するポートに接続されているコンピューターに、オーディオフォーカスが移動します。
- ◆ ポート選択ボタンを2秒以上押し続けると、対応するポートに接続されているコンピューターに、KVM、オーディオ、USBのフォーカスが移動します。
- ◆ ポート選択プッシュボタン1と2を2秒以上押し続けると、オートスキャンモードを開始します。詳細はp.19を参照してください。

第4章 ホットキーの操作

CS1822/CS1824は、キーボードからKVMシステムを制御および設定するのに便利な、広範で使いやすいホットキー機能を提供します。ホットキーは、KVM、USBハブ、オーディオのフォーカスを非同期で(独立して)切り替える機能を提供します。必要に応じて、1台のコンピューターにKVMコンソールフォーカスを与え、もう1台にUSBハブフォーカスを与え、もう2台にオーディオフォーカスを与えることができます。

ホットキーによるポート切替

すべてのポート切替操作は、[Scroll Lock]キーを2回タップすることから始まります。

注意:

- ◆ [Scroll Lock]キーの使用が、コンピューターで実行されている他のプログラムと競合する場合は、代わりに[Ctrl]キーを使用できます。詳細については、p.21「ポート切替の代替キー」を参照してください。
 - ◆ オーディオポートの切替機能を変更するオーディオミキサー機能は2種類あります。この機能は次のセクションで説明されています。詳細については、p.27「ステレオオーディオミキサー」を参照してください。
-

ポートの循環切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVMフォーカスが現在あるポートから、システム上の次のポート(CS1822の場合: 1→2→1…、CS1824の場合: 1→2→3→4→1…の順)に、 KVM 、 USBハブ 、および オーディオ のフォーカスを合わせます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	現在使用しているポートからシステムにおける次のポートに、 KVM のフォーカスのみを移動します。USBとオーディオのフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	現在あるポートからシステムにおける次のポートに、 USBハブ のフォーカスのみを移動します。KVMとオーディオのフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	現在あるポートからシステムにおける次のポートに、 オーディオ のフォーカスのみを移動します。KVMおよびUSBハブのフォーカスは、そのまま留まります。

ポートのダイレクト切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [n] [Enter]	指定したポートIDに対応するポートに接続されているコンピューターに、 KVM、USBハブ、オーディオ の各フォーカスを移動させます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 KVM のフォーカスのみを移動させます。USBハブとオーディオフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 USBハブ のフォーカスのみを移動させます。KVMとオーディオのフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 オーディオ のフォーカスのみを移動させます。KVMおよびUSBハブのフォーカスは、そのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U][Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 KVMとUSBハブ のフォーカスを移動させます。オーディオフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S][Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 KVMとオーディオ のフォーカスを移動させます。USBハブのフォーカスはそのまま留まります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S][Enter]	指定したポートに接続されているコンピューターに、 USBハブとオーディオ のフォーカスを移動させます。KVMフォーカスはそのまま留まります。

注意:

nはコンピューターのポートID番号 (CS1822の場合: 1または2、CS1824の場合: 1、2、3、または4) を表します。詳細については、p.14「ポートIDの付番」を参照してください。ホットキーの組み合わせを入力するときは、[n]を適切なポートIDに置き換えてください。

オートスキャン

CS1822/CS1824のオートスキャン機能は、KVMフォーカスをコンピューターポート経由で一定の時間間隔によって自動的に循環させます。これにより、ポートからポートに手動で切り替える手間をかけずに、コンピューターの動作を監視することができます。詳細については、以下の表を参照してください。

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンを呼び出します。KVMフォーカスは、 5秒間隔 でポートからポートへと順番に切り替わります。デフォルトでは、5秒間隔に設定されています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	KVMフォーカスは、 n秒間隔 でポートからポートへと順番に切り替わります。

注意:

1. **n**は、CS1822/CS1824がポートに滞留してから次のポートに移動するまでの秒数を表します。このホットキーの組み合わせを入力する場合は、**n**を1～99の数値に置き換えてください。
2. オートスキャンモードが有効な間、通常のキーボードとマウスの機能は中断されます。このとき、オートスキャンモードに準拠したキーストロークとマウスクリックのみ入力できます。コンソールの通常操作に戻るには、オートスキャンモードを終了する必要があります。
3. ビデオフォーカスはポートからポートに切り替わりますが、オーディオとUSBフォーカスは切り替わりません。これらは、オートスキャン機能の開始時にONになっていたポートに留まります。
4. オートスキャンモードを終了するには、**[Esc]**キーまたは**スペースキー**を押してください。

ホットキー設定モード(HSM)

ホットキー設定モード(HSM)は、KVMスイッチCS1822/CS1824の設定に使用します。すべての操作は、ホットキー設定モードの起動から始まります。

HSMを起動するには、次の手順に従って作業を行ってください。

1. **[Num Lock]**キーを押したままにしてください。
2. **[-]**キーを押したら、このキーを押した指を離してください。
3. **[Num Lock]**キーから指を離してください。

注意:

HSMの起動には代替キーの組み合わせがあります。詳細は下記を参照してください。

HSMがアクティブな場合、Caps LockおよびScroll Lockの各LEDが連続して点滅し、HSMが有効であることを示します。HSMを終了すると、点滅が停止し、通常の状態に戻ります。

通常のキーボードとマウスの機能はサスペンド状態です。ホットキーに準拠したキーストロークとマウスクリック(以降のセクションで説明します)のみを入力できます。

ホットキー操作が完了すると、ホットキーモードが自動的に終了します。一部の操作は、手動で終了する必要があります。手動でHSMを終了するには、**[Esc]**キーまたは**スペースキー**を押してください。

HSM起動の代替キー

デフォルトの設定がコンピューターで実行されているプログラムと競合する場合に備えて、HSM呼び出しキーの代替設定が用意されています。

代替のHSM呼び出し設定に切り替えるには、次のように操作してください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [H]を押したら、このキーを押した指を離してください。

HSM呼び出しキーは、([Num Lock] + [-]ではなく)[Ctrl]キー+ [F12]キーになります。

注意:

この手順は、2つの方法を交互に切り替えます。元のHSM呼び出しキーに戻すには、HSMを呼び出し、[H]キーをもう一度押して、指を離します。

ポート切替の代替キー

ポート切替を有効にするもう1つの方法は、[Ctrl]キーを2回押す方法です。代替ポート切替ホットキーを使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [T]を押したら、このキーを押した指を離してください。

注意:

この手順は、2つの方法を交互に切り替えます。元の[Scroll Lock][Scroll Lock]の方法に戻すには、上記の手順に従って操作を行ってください。

ATENデフォルトEDIDモード

電源をスムーズに投入し、高品質のディスプレイを表示し、最適な解像度を使用してモニターの互換性の問題を解消するには、ATENのデフォルトEDIDモードを有効にします。

ATENデフォルトEDIDモードを有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [V][Enter]を押してください。

ビープ音の制御

ビープ音のON/OFFができます。ビープ音のON/OFFを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [B]キーを押したら、このキーを押した指を離してください。

ファームウェアアップグレードモード

ファームウェアアップグレードモードを開始するには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. upgradeと入力してください。
3. **[Enter]**を押してください。

フロントパネルのLEDが点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを示します。

注意:

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、KVMスイッチの電源をOFFにする必要があります。

ホットキーによるポート切替

ホットキーによるポート切替を有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[X][Enter]**を押してください。

無効にすると、ポート切替ホットキー**[Scroll Lock][Scroll Lock]**(および代替方法の**[Ctrl][Ctrl]**)は機能なくなります。

キーボードエミュレーションの制御

キーボードエミュレーションを使用可能/使用不可にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[N]**を押してください。

キーボード言語のレイアウト

キーボードレイアウトを選択するには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [F6][n][n][Enter]を押してください。

[n][n]は、キーボード言語コードを表す2桁の数字です。

米国英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15

キーボード操作プラットフォーム

CS1822/CS1824のデフォルトのポート設定は、PC互換性のキーボード操作プラットフォームです。コンソールでPC互換キーボードを使用していて、MacまたはSunがポートに接続されている場合などは、PC互換キーボードがMacまたはSunキーボードをエミュレートするように、ポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更することができます。手順は次のとおりです。

1. KVMフォーカスを設定したいポートに移動してください。
2. HSMを起動してください(p.20参照)。
3. 適切なファンクションキー(下表参照)を押して、指を離してください。
この手順が完了すると、HSMは自動的に終了します。

ファンクションキー	操作方法
[F1]	SPCモードを設定し、特殊なオペレーティングシステムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします(詳細はp.31参照)。
[F3]	Sunキーボードエミュレーションを有効にします(詳細はp.32参照)。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。

製品本体における設定の一覧表示

製品本体における設定を一覧表示するには、次の手順に従って操作を行ってください：

1. テキストエディターまたはワープロソフトを開き、ページウィンドウにカーソルを置いてください。
2. HSMを起動してください(p.20参照)。
3. [F4]を押したら指を離してください。そうすると、設定が表示されます。

マウスエミュレーションの制御

マウスエミュレーションを有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [M]を押してください。

マウスによるポート切替

マウスによるポート切替機能では、マウスホイールを2回クリックすることでポートを切り替えることができます。マウスによるポート切替を機能させるには、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。マウスポートによる切替機能を有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください：

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [W]を押してください。

Nキー・ロールオーバー対応機能

Nキー・ロールオーバーを有効にすると、最大15の同時キー入力が可能になります。Nキー・ロールオーバーを有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください：

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[K][Enter]**を押してください。

電源状態検知機能

電源状態検出機能をON/OFFにするには、次の手順に従って操作を行ってください：

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[E]**を押してください。

デフォルト設定の復元

CS1822/CS1824をデフォルトのホットキー設定にリセットするには、次の手順に従って操作を行ってください：

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[R][Enter]**を押してください。

すべてのホットキー設定が出荷時のデフォルト設定に戻ります。

ステレオオーディオミキサー

ステレオオーディオミキサーは、最大2系統の音源をミキシングし、ミキシングしたオーディオを(スピーカーに)出力するモード機能です。

注意:

HDMIオーディオのミキシングには対応していません。また、オーディオミキシングを行うには、オーディオケーブル接続を使用してください。

2つの異なるホットキーでオーディオをミキシングするには、2つの方法があります:

シングルフォーカスオーディオミキシングモード

このモードでは、1つの音源をポートに固定しながら、2つ目の音源*を固定音源と結合し、オーディオ出力としてミキシングします。以下の例を参照してください:

- ◆ 音源がポート2に固定されている場合に、KVMフォーカスがポート1にあると、ポート1とポート2の音源がオーディオ出力としてミキシングされます。
- ◆ 音源がポート3に固定されている場合に、KVMフォーカスがポート1にあると、ポート1とポート3の音源がオーディオ出力としてミキシングされます。
- ◆ 音源がポート1に固定されている場合に、KVMフォーカスがポート1にあると、ポート1が唯一のオーディオ出力になります。

シングルフォーカスオーディオミキシングモードを設定するには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[A][P][n][Enter]**を押してください。

nはコンピューターのポートID番号(CS1822の場合:1または2、CS1824の場合:1、2、3、または4)を表します。

注意:

この2番目の音源はKVMに従い、プッシュボタン、ホットキー、マウスホイールを使用して選択できます。

ダブルフォーカスオーディオミキシングモード

このモードでは、2つの音源を固定し、オーディオ出力としてミキシングします。以下の例を参照してください:

- 音源がポート1とポート2に固定されている場合は、KVMフォーカスのあるポートに関係なく、ポート1とポート2の音源がオーディオ出力としてミキシングされます。
- オーディオソースがポート1とポート3に固定されている場合は、KVMフォーカスのあるポートに関係なく、ポート1とポート3のオーディオソースがオーディオ出力としてミキシングされます。

ダブルフォーカスオーディオミキシングモードを設定するには、次の手順に従って操作を行ってください:

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[A][R][n][m][Enter]**を押してください。

nとmはコンピューターのポートID番号(CS1822の場合:1または2、CS1824の場合:1、2、3、または4)を表します。これらには、同じポートを指定することはできません。

オーディオミキシングの無効化

この機能はオーディオミキシングモードを無効にします。

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. **[A][O][Enter]**を押してください。

USBのリセット

USBがフォーカスを失い、リセットする必要がある場合は、次の手順に従って操作を行ってください：

1. HSMを起動してください(p.20参照)。
2. [F5]キーを押したら、このキーを押した指を離してください。

HSM一覧表

HSMを起動したら(p.20参照)、次のいずれかのキーを入力して、対応する機能を実行してください：

キー	機能
[F1]	キーボードとマウスをSPCモードに設定し、特殊なオペレーティングシステムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sunキーボードエミュレーションを有効にします。
[F4]	テキストエディターまたはワープロソフトでスイッチにおける現在の設定を出力します。
[F5]	USBキーボードとマウスのリセットを実行します。
[F6][n][n][Enter]	キーボードの言語レイアウトを設定します。nnはキーボード言語コードを表す2桁の数字です(US英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。
[A] [P][n][Enter]	シングルフォーカスオーディオミキシングモードを有効にします。nはポートIDを表します(CS1822の場合:1 または2、CS1824の場合:1、2、3 または4)。
[A] [R][n][m][Enter]	ダブルフォーカスオーディオミキシングモードを有効にします。nとmはポートIDを表します(CS1822の場合:1 または2、CS1824の場合:1、2、3 または4)。 nとmに同じポートIDを指定することはできません。
[A] [O][Enter]	オーディオミキシングモードを無効にします。
[B]	ビープ音を有効/無効にします。

キー	機能
[E]	電源状態検出機能のON/OFFを切り替えます。
[H]	HSM呼び出しキーをデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[K] [Enter]	Nキー・ロールオーバー対応機能を有効/無効にします。
[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[N]	キーボードエミュレーションを有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルトの状態にリセットします。
[T]	ポート切替キー設定をデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを呼び出します。
[V] [Enter]	ATENデフォルトEDIDモードを有効/無効にします。
[W]	マウスによるポート切替機能を有効/無効にします。有効になっている場合、マウスホイールを2回クリックしてポートを切り替えます。マウスエミュレーションを有効にする必要があります。
[X] [Enter]	ホットキーによるポート切替機能を有効/無効にします。
[Esc]またはスペースキー	設定モードを終了します。
[S]	手動ポート選択ブッシュボタン設定をデフォルトと代替で交互に切り替えます。

第5章 キーボードエミュレーション

Macキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、Macキーボードの機能をエミュレートできます。エミュレーションマッピングは下表のとおりです。

PC用キーボード	Macキーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl][1]	
[Ctrl][2]	
[Ctrl][3]	
[Ctrl][4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

Sunキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、[Ctrl]キーを他のキーと組み合わせて使用すると、Sunキーボードの機能をエミュレートできます。対応する機能を下表に示します。

PC用キーボード	Sunキーボード
[Ctrl][T]	Stop
[Ctrl][F2]	Again
[Ctrl][F3]	Props
[Ctrl][F4]	Undo
[Ctrl][F5]	Front
[Ctrl][F6]	Copy
[Ctrl][F7]	Open
[Ctrl][F8]	Paste
[Ctrl][F9]	Find
[Ctrl][F10]	Cut
[Ctrl][1]	
[Ctrl][2]	
[Ctrl][3]	
[Ctrl][4]	
[Ctrl][H]	Help
	Compose
	

注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

第6章

ファームウェアアップグレード ユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ (FWUpgrade.exe) は、CS1822/CS1824 のファームウェアを自動でスムーズにアップグレードするためのプロセスを提供します。

このユーティリティは、各デバイスに固有のファームウェアアップグレードパッケージの一部として提供されます。新しいバージョンのファームウェアが利用可能になると、そのファームウェアアップグレードパッケージが当社の Web サイトに掲載されます。Web サイトを定期的にチェックして、最新のパッケージと関連情報を確認してください。

<http://www.aten.com/global/en/support-and-downloads/downloads/>

セットアップの前に

ファームウェアのアップグレードの準備をするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. KVM スイッチが組み込まれたシステムに属していないコンピューターから、弊社 Web サイトにおける CS1822/CS1824 製品ページにアクセスし、「サポートとダウンロード」メニューから使用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストを取得してください。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新)を選択し、コンピューターにダウンロードしてください。
3. CS1822/CS1824 を KVM システムから外し、電源を切ってください。USB ケーブルの Type-A USB コネクタをコンピューターの USB ポートに接続してください。

4. USBケーブルのもう片方の端にあるUSB Type-Bコネクタをポート1のKVMセクションにあるUSB Type-Bポートに接続してください。

注意:

USBケーブルのUSB Type-Bコネクタは、任意のKVMポートセクションに接続できますが、以下の手順5のポート選択プッシュボタンはポート1である必要があります。

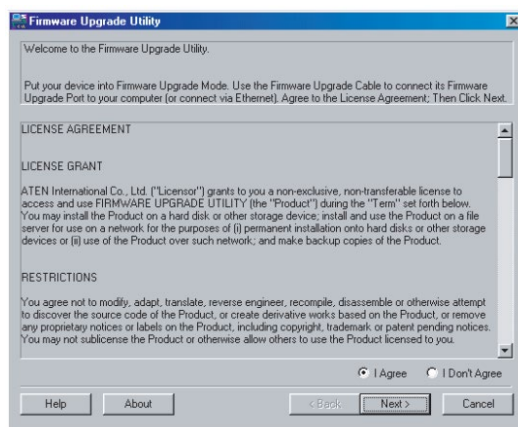
5. ポート1選択プッシュボタンを押したままにしてください。ボタンを押したまま、電源アダプターをCS1822/CS1824に接続してください。そうすると、ファームウェアアップグレードモードに入ります。フロントパネルのLEDが一斉に点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを示します。

アップグレードの開始

ファームウェアをアップグレードするには:

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行してください。ファイルアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインを開いてフルパスを入力します。

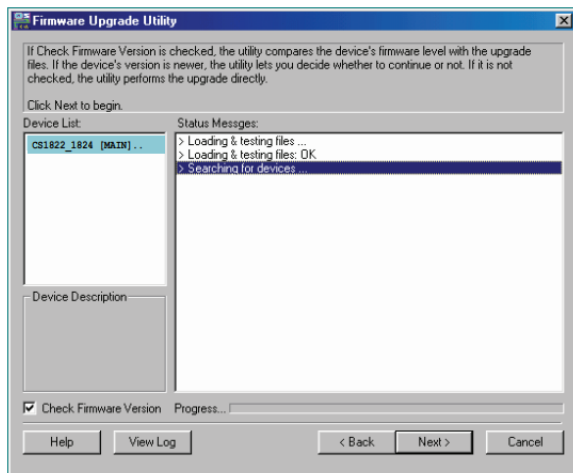
ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。



注意:

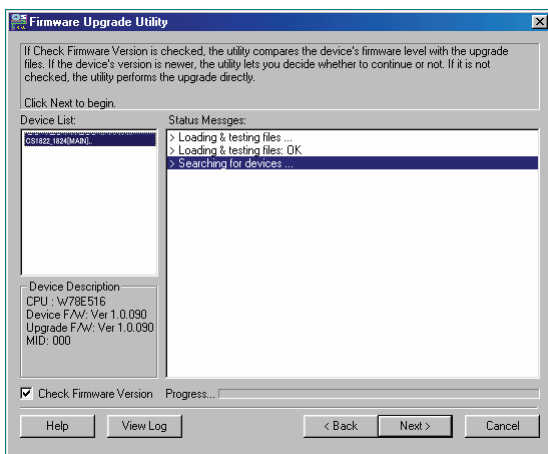
このセクションに表示される画面は参考用です。ファームウェアアップグレードユーティリティによって表示される実際の画面の表現とレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

2. 使用許諾契約書を読んでください(「同意する」ラジオボタンを有効にしてください)。
3. 「次へ」をクリックして先へ進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

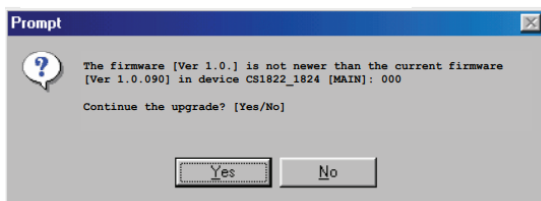


ユーティリティは、お使いのシステムをチェックします。このパッケージによってアップグレードできるすべてのデバイスが、「デバイスリスト」パネルに一覧表示されます。

4. リストでデバイスを選択すると、その説明が「デバイスの説明」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択したら、「次へ」をクリックしてアップグレードを実行してください。



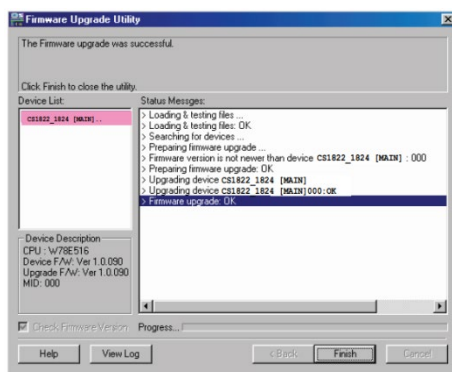
「ファームウェアバージョンを確認する」の項目を有効にした場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアバージョンとアップグレードファイルのファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合、状況を通知するダイアログボックスが表示され、続行またはキャンセルのオプションが表示されます。

「ファームウェアバージョンを確認する」を有効にしなかった場合は、アップグレードファイルのバージョンにかかわらず、アップグレードファイルがインストールされます。

アップグレードが進むと、ステータスメッセージパネルにステータスメッセージが表示され、完了に向けた進捗状況が進捗バーに表示されます。

アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、手順が成功したことを通知する画面が表示されます。



「完了」をクリックして、ファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

正常に完了すると、KVMスイッチはファームウェアアップグレードモードを終了し、製品本体をリセットします。

アップグレードの失敗

「アップグレードの成功」画面が表示されない場合は、アップグレードが失敗したことを意味します。アップグレード手順を繰り返して再試行してください。

安全にお使いいただくために

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ また、弊社Webサイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。装置が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源装置の制限を把握し、超えないようにしてください。

い。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。

- ◆ 設置場所への損傷を防ぐために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に扱ってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。すべての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - ◆ 電源コードが破損した。
 - ◆ 装置の上に液体をこぼした。
 - ◆ 装置が雨や水にぬれた。
 - ◆ 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - ◆ 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - ◆ 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。
- ◆ 「シリアル」と書かれたRJ-11コネクタを公衆通信網に接続しないようにしてください。

仕様

機能			CS1822	CS1824
コンピューター接続数			2	4
ポート選択			プッシュボタン、ホットキー、RS-232Cコマンド、マウス*	
コネクター	コンソールポート	キーボード	USB Type-A メス × 1	
		マウス	USB Type-A メス × 1	
		ビデオ	HDMI メス × 1(Black)	
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス × 2 (Green、フロント × 1、リア × 1)	
	KVMポート	キーボード /マウス	USB3.1 Gen1 Type-B メス × 2(Blue)	USB3.1 Gen1 Type-B メス × 4(Blue)
		ビデオ	HDMI メス × 2(Black)	HDMI メス × 4(Black)
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス × 2(Green)	3.5mmオーディオジャック メス × 4(Green)
	電源		DC電源ジャック × 1	
	USBハブ		USB3.1 Gen1 Type-A メス × 2(Blue、フロント × 1、リア × 1)	
	シリアル		RJ-11 メス × 1	
スイッチ	セレクトター	プッシュボタン × 2	プッシュボタン × 4	
LED	オンライン/選択	2 (Orange)	4 (Orange)	
	オーディオ	2 (Green)	4 (Green)	
	USBリンク	2 (Green)	4 (Green)	
エミュレーション	キーボード/マウス	USB		
ビデオ			4096 × 2160@60Hz	
スキャンインターバル			1～99秒 (デフォルト: 5 秒)	
消費電力			DC5V: 1.78W	DC5V: 2.535W
動作環境	動作温度		0～40℃	
	保管温度		-20～60℃	
	湿度		0～80%RH、結露なきこと	
ケース	ケース材料		メタル、プラスチック	
	重量		0.74 kg	0.94 kg
	サイズ(W × D × H)		210 × 88 × 55.5mm	270 × 88 × 55.5mm

* ポート切替は、エミュレーションモードの3ボタンUSBマウスのホイールでのみ機能します。

トラブルシューティング

概要

操作上の問題には、様々な原因が考えられます。解決するための最初の手順は、すべてのケーブルがしっかりと接続され、ポートに完全に装着されているのを確認することです。

また、製品のファームウェアをアップデートすると、以前のバージョンがリリースされてから検出され、修正された問題が解決される場合があります。製品で最新のファームウェアバージョンが実行されていない場合は、アップグレードすることを強く推奨します。アップグレードの詳細については、第6章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
マウスまたはキーボードが応答しない。	マウスまたはキーボードのリセットが不適切です。	コンソールポートからケーブルを外し、もう一度差し込んでください。
	CS1822/CS1824をリセットする必要があります。	システム上のすべてのデバイスの電源をOFFにしてください(p.9の安全上の注意を参照)。CS1822/CS1824の電源をOFFにし、5秒以上経過してから電源をONにしてください。
USBデバイスが応答しない。	USBポートをリセットする必要があります。	デバイスのUSBケーブルをCS1822/CS1824のリアパネルのUSBポートから外し、もう一度差し込んでください。
	PCまたはOSがUSB2.0/3.0に対応していません。	CS1822/CS1824はUSB3.0ハブを内蔵しているため、USB2.0/3.0対応していないPCやOSには対応していません。 USB2.0に対応していないOSでは、[F1]ホットキー機能を使用してキーボードやマウスの機能をリセットできます。p.24を参照してください。
デバイスが認識されない (Windows)。	Windowsのタイミングの問題です。	1. KVMケーブルをコンピューターのUSBポートから外してください。 2. Windowsのシステム設定に進み、不明なデバイスのエントリを削除してください。 3. KVMケーブルを差し込み直してください。 Windowsがデバイスを認識します。

フロントパネルの プッシュボタンの コンボキーが、設 定後でも機能しな い。	一部のホットキーは、フ ロントパネルのプッシュボ タンコンボキーとしてサポ ートされていません。	[X][Enter]、[R][Enter]および[upgrade][Enter]ホ ットキーは、フロントパネルのプッシュボタンコン ボキーとして設定できません。使用する別のホ ットキーを選択してください。
--	---	---